

Arn. (Arnica montana) のエッセンス

原材料 キク科ウサギギク属の多年草。全草か根のチンキ。

部位 血液。血管。神経。筋肉。消化器。右側。左側。



レメディの特徴

特に怪我（事故）の際に利用される。あらゆるトラウマに特に優れたレメディ。精神的トラウマ、身体的トラウマ、それらが最近のものでも過去のものでも効果が得られる。傷口が解放していない打撲的怪我（内出血を含む）に有用。ヒリヒリした打撲様の痛み。重症でも自分は大丈夫と言い、他人の接近や接触を恐れる。

モダリティー

悪化：怪我（打撲傷；ショック；衝撃；出産；精を出しすぎる事；捻挫）。接触。

睡眠後。休息、

好転：横になる（頭を低くして；大の字に）。外気、冷水浴。

特徴的な症状 (Rubrics)

GENERALITIES; INJURIES, blows, falls and bruises (219) 傷害、打撲、落下、傷。

GENERALITIES; PAIN; sore, bruised; externally (146) ヒリヒリする外傷性の痛み、

GENERALITIES; WOUNDS; constitutional effects of (20) 慢性的に影響する創傷。

GENERALITIES; WOUNDS; Soft parts (10) 軟部組織の創傷。

EXTREMITIES; COLDNESS; Hands; heat of; face, with (30) 手が冷えて顔が熱い。

MIND; FEAR; approaching; others, of (40) 他人が近づくことを恐れる。

MIND; FEAR; touch, of (42) 接触を恐れる。

MIND; WELL; says he is, when very sick (19) 重症でも大丈夫だと言う。

HEAD; CONCUSSION of brain (35) 脳震盪。

GENERALITIES; LIFTING, overlifting, straining of muscles and tendons; agg. from (81) 重いものを持ち上げたことによる筋肉と腱への負担。

相補レメディ Acon. Calc. Nat-s. Psor. Rhus-t、

間違えやすいレメディ

Acon. (ショック、苦痛)、Bell-p. (腹部等の深い傷)、Calen. (外傷)、

Ham. (出血傾向)、Nat-s. (頭部外傷)、Ruta. (打撲した様な痛み)

怪我の際によく利用するレメディ

Arn. (打撲・出血) Bell-p. (深い傷) Hyper. (神経) Calen. (化膿止め) Hep. (化膿)

Led. (刺し傷) Ruta.Rhus-t. (捻挫・脱臼) Staph. (術後) Calc-p.Symph. (骨折)